



—カメラリアは、ツバキ科の植物の総称です。呉市民の花はつばきであり、本校校歌の歌詞にも含まれています。—

巡回相談等において、教師や保護者から「学校で何度教えても定着できません。どうしたらいいですか?」「学校の宿題が難しいようで、やり方を何度教えてもできません。塾に行けば、分かるようになりますか?」という相談があります。

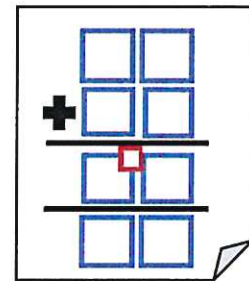
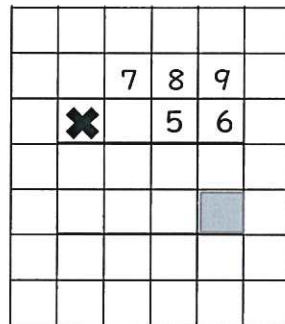
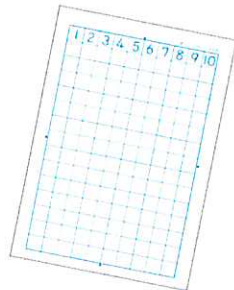
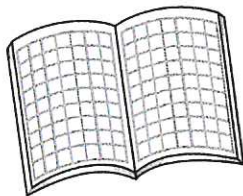
学習上の困難さがある場合、個別学習の時間を設定したり、たくさん問題数をこなしたりするだけでは内容を理解することが難しいことがあります。子どもの情報処理の仕方により、手立ては異なりますが、ひと工夫するだけで、子どもが理解しやすくなります。

算数の場合



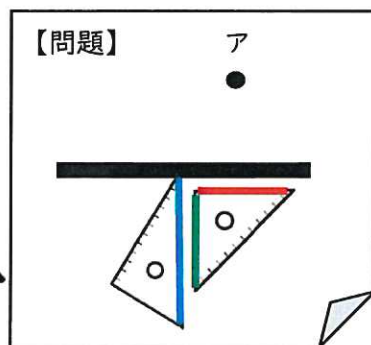
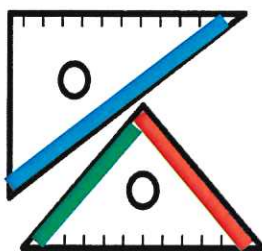
○筆算が正しく計算できない。

- マス目が書かれている用紙や縦線が書かれている用紙を準備する。
- 問題を書き写す際に間違いが起こらないよう、あらかじめ問題が記入されたプリントを準備する。



○三角定規を使って平行な直線を書くことができない。

- 手元に解き方の見本や手順表などを置く。
- 三角定規の操作について、「直角に合わせて…アまで滑らす」など、言葉を添えて操作させる。
- 三角定規の各辺に色を付けておくなど、三角定規のどこ(何色)を直線に合わせてたらよいか分かりやすくする。



【操作手順】

- ① 直線に を合わせる。
- ② と を合わせる。
- ③ ①の定規を上を滑らせ、ア(●)に合わせる。



参考:ふしぎだね!?LD(学習障害)のおともだち/ミネルヴァ書房
算数の天才なのに計算ができない男の子のはなし/岩崎書店

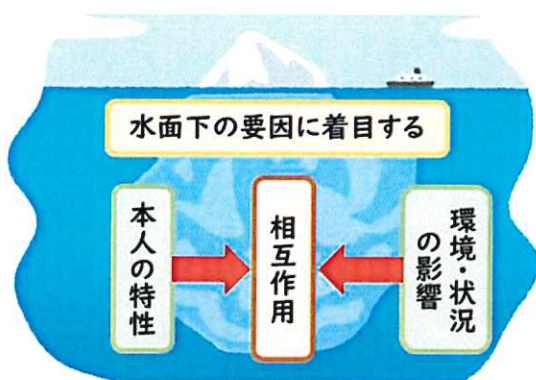
行動の背景を知る～冰山モデルの視点

「ほしい!」「注目されたい!」「傷付きたくない!」一時として、児童生徒の思いが不適切な行動に繋がることがあります。繰り返し指導をしても、うまくいかないということはありませんか?

長澤正樹ら(2005年)は「問題行動等を単純に無くしてしまおうとすると、形を変えて、別の問題行動等を用いようとすることがある」と述べています。

不適切な行動の悪循環を断ち切るためには、背景にある原因を理解しなければなりません。

発達障害のある人の様々な行動の困難さを理解する上で大事にしたい視点として、冰山モデルの視点があります。このことについて、広島県が発行している“発達障害支援ハンドブック”(平成26年)には、「その課題となっている行動を氷山の一角と捉えて、その氷山の一角に注目するのではなく、その水面下の要因に着目して考えます。」と示されています。



📌 冰山モデルの視点

冰山モデルシート (記入例)	
● 課題となっている行動を書きます。(できるだけ具体的に)	
自己流の解釈での判断をしよう (就労移行支援利用期間中に、事業所を辞めると判断。それは本人にとっては現実的ではない)。	
【本人の特性】	【環境・状況】
<ul style="list-style-type: none"> ・関係理解の困難さや、理解の困難さがある。 ・自分の状況、将来の見通しなどの状況を整理することが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・制度、就労プロセス、家族の思い、自分の興味、周囲のアドバイスが複雑でわかりにくい。 ・誰も、本人に対して具体的な提案

📌 冰山モデルシート(記入例)一部抜粋

本校では、各学部の研修会において、冰山モデルシートを活用した事例検討を行いました。対象児童生徒の課題となっている行動について、学部全体で協議することで、子どもの実態やこれまでの関わり方を見直し、具体的な行動支援計画を立てることができました。



📌 小学部研修会の様子



参考:長澤正樹・関戸英紀・松岡勝彦(2005年):『こうすればできる:問題行動対応マニュアル』



引用:広島県(平成26年):『発達障害支援ハンドブック～相談支援編～行動面の背景や感情について(発達障害相談支援ハンドブック改訂版)』

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/130232.pdf>



広島県立呉特別支援学校

担当者:専任教育相談主任(特別支援教育コーディネーター) 平川 真衣

住所:呉市焼山北三丁目 22-1

TEL:(0823)33-0300 FAX:(0823)33-0308

